

**パソナグループ 2011年5月期 第2四半期 決算概要**

- 売上高は 88,994 百万円（前年同期比△3.3%）と若干減収、マイナス幅は縮小
- プレース&サーチ（人材紹介）は企業の採用意欲が回復し、即戦力を中心に求人増加  
グローバルソーシング（海外人材サービス）は計画を上回って推移、インソーシング  
（委託・請負）もパブリックセクターからの受注が増加して堅調
- アウトプレースメント（再就職支援）は、企業の雇用調整が一巡して受注減少
- エキスパートサービス（人材派遣）は新規受注が増加し、長期稼働者数も底打ち
- 上期はアウトプレースメントで早期再就職決定を最優先したため原価が膨らみ、粗利率が  
低下。販管費は業務効率化とコスト削減により引き続き抑制
- 営業利益は 533 百万円、経常利益は 580 百万円と減益。第1四半期に計上した資産  
除去債務の影響もあり、四半期純損失は 549 百万円となったものの大幅に改善

**1. 第2四半期連結累計期間 業績（2010年6月1日～2010年11月30日）**

(百万円)

	2010年5月期	2011年5月期	増減	増減率
<b>売上高</b>	92,069	<b>88,994</b>	△3,074	△3.3%
売上総利益 (売上比)	17,689 19.2%	<b>16,174</b> <b>18.2%</b>	△1,515 △1.0pt	△8.6%
販売費及び一般管理費 (売上比)	16,784 18.2%	<b>15,640</b> <b>17.6%</b>	△1,144 △0.6pt	△6.8%
<b>営業利益</b> (売上比)	905 1.0%	<b>533</b> <b>0.6%</b>	△371 △0.4pt	△41.0%
<b>経常利益</b> (売上比)	933 1.0%	<b>580</b> <b>0.7%</b>	△352 △0.3pt	△37.7%
税金等調整前四半期純利益 (売上比)	877 1.0%	<b>112</b> <b>0.1%</b>	△764 △0.9pt	△87.2%
<b>四半期純損益</b> (売上比)	△1,696 —	<b>△549</b> —	1,147 —	—

**2. セグメント別業績（セグメント間取引消去前）**

(百万円)

	売上高	営業利益
HRソリューション	88,428	1,871
エキスパートサービス(人材派遣)、 インソーシング(委託・請負)他	76,260	653
エキスパートサービス(人材派遣) インソーシング(委託・請負) HRコンサルティング	74,470	653
プレース&サーチ(人材紹介)	788	
グローバルソーシング(海外人材サービス)	1,000	
アウトプレースメント(再就職支援)	5,103	586
アウトソーシング	7,064	632
ライフソリューション パブリックソリューション シェアード	1,774	73
消去又は全社	△1,207	△1,411
合計	88,994	533

※当期からセグメント区分を変更したため、前年同期比は記載していません。

## ●業績概況

- 連結売上高は前年同期比△3.3%の88,994百万円となり、若干減収となったもののマイナス幅は縮小
- 粗利率は、アウトプレースメントにおいて早期再就職決定を最優先したため原価が膨らみ低下。グローバルソーシングで一部吸収したものの、売上総利益は前年同期比△8.6%の16,174百万円
- 販管費は、グループ総合拠点にオフィスを統合して業務効率化とコスト削減を進め、前年同期比△1,144百万円の15,640百万円(前年同期比△6.8%)
- 連結営業利益は、前期大幅な増益となったアウトプレースメントの利益貢献が落ち着いたこともあり533百万円(前年同期比△41.0%)、連結経常利益は580百万円(前年同期比△37.7%)と減益
- 第1四半期に資産除去債務影響額480百万円を特別損失に計上したため、連結四半期純損失549百万円となったが、税効果会計の影響が少なかったため、四半期純損益は大幅に改善(前年同期は四半期純損失1,696百万円)

## ●セグメント別業績 ※当期からマネジメント・アプローチに基づいてセグメント区分を変更したため前年同期比は記載しておりません

### HRソリューション

#### エキスパートサービス(人材派遣)、インソーシング(委託・請負)他

売上高 76,260百万円、営業利益 653百万円

#### [エキスパートサービス(人材派遣)、インソーシング(委託・請負)、HRコンサルティング]

売上高 74,470百万円

#### エキスパートサービス(人材派遣) ※月平均長期稼働者数、派遣職種別売上高… p.4

- メーカーやITをはじめ多くの業界で新規受注が増加し、長期稼働者数も底打ちが見られた
- 職種別では、医療分野の育成型派遣の推進やM&Aによる専門職種強化も奏功し、テクニカル分野が堅調に推移したほか、営業・販売職も回復の兆し。結果、売上高は66,583百万円

#### インソーシング(委託・請負)

- 受付、事務センターやコールセンターなどの受託が増加したほか、積極的な提案や実績が評価されてパブリック案件も順調に推移し、売上高6,827百万円と伸長

#### [プレース&サーチ(人材紹介)]

売上高 788百万円

- 国内では営業職や技術職の即戦力を中心に採用意欲回復の動きが見られたことから受注が増加し、売上高は回復基調  
※海外の人材紹介は当期から「グローバルソーシング(海外人材サービス)」に含む

#### [グローバルソーシング(海外人材サービス)]

売上高 1,000百万円

- 日本企業の海外シフトが活発化する中、現地社員の拡充に加えて、国内においてもグローバル人材の採用意欲が高まり、特に中国などアジアを中心に新規需要が増加
- 人材派遣、給与計算等の業務や海外人事における周辺分野のアウトソーシング受託も拡大

上記セグメント利益は、エキスパートサービスにおいて派遣スタッフの社会保険料率上昇や、派遣単価スプレッド低下等の影響を受けたものの、インソーシングおよびグローバルソーシングの拡大、プレース&サーチの回復に加え、販管費の抑制等によって収益は改善基調

#### アウトプレースメント(再就職支援)

売上高 5,103百万円、営業利益 586百万円

- 企業の雇用調整が一巡し、受注は高水準だった前期に比べて減少
- サービス利用者の早期再就職決定を最優先し、カウンセリングや求人開拓に重点を置いた結果、原価が膨らみ、好調だった前期と比べて売上総利益が大幅に減少

#### アウトソーシング

売上高 7,064百万円、営業利益 632百万円

- 大企業・官公庁等の法人会員に対して提案営業を推進し、ワークライフ・バランスを実現する福利厚生サービスの拡販に注力した結果、福利厚生アウトソーシングサービスは堅調に推移

#### ライフソリューション、パブリックソリューション、シェアード

売上高 1,774百万円、営業利益 73百万円

- ライフソリューションの保育関連事業では、保育士の派遣や学童保育事業の受託が増加し、堅調に推移

### 3. 財政・投資の状況

#### ●財政の状況

(百万円)

	2010年5月期 期末	2011年5月期 2Q末	前期末比		増減要因
			増減	増減率	
流動資産	34,986	37,533	2,546	7.3%	現金及び預金の増加 4,353 百万円等
固定資産	17,282	17,550	268	1.6%	
資産合計	52,269	55,084	2,814	5.4%	
流動負債	21,426	19,680	△1,745	△8.1%	買掛金の減少 649 百万円、短期借入金 の増加 973 百万円、長期借入金の増加 4,376 百万円等
固定負債	5,863	11,143	5,279	90.0%	
負債合計	27,289	30,823	3,533	12.9%	
純資産合計	24,979	24,260	△719	△2.9%	四半期純損失 549 百万円、配当金の支 払 187 百万円等
自己資本比率	39.6%	36.4%	△3.2pt		

#### ●キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の期間末残高16,905百万円(前期末比4,581百万円増)

(百万円)

	2010年5月期 2Q累計	2011年5月期 2Q累計	増減	資金増減の主な内訳
営業活動によるCF	△1,235	634	1,870	税引前四半期純利益 112 百万円、減価償却費 1,075 百万円、法人税等の支払額 337 百万円等
投資活動によるCF	△25	△716	△690	投資有価証券の取得 779 百万円、敷金及び保証金の回収 253 百万円等
財務活動によるCF	△6,180	4,711	10,891	長期借入金による収入 5,946 百万円、配当金の支払 453 百万円等
フリーC	△1,261	△81	1,180	

### 4. 2011年5月期(2010年6月1日～2011年5月31日)連結業績予想

通期業績予想は2010年7月20日に発表した見通しを変更していません。

雇用環境は足元緩やかな改善が続く、企業の採用意欲も回復してきていますが、セグメント別の見通しは、エキスパートサービスにおいて、厚生労働省が専門26業務と自由化業務の区分を厳格化する方向にあり、今後は派遣スタッフやクライアントのニーズに影響を及ぼす可能性があります。そのような状況を踏まえ、下期にかけエキスパートサービスはやや慎重に見る一方、インソーシングは官公庁や地方自治体等のパブリックセクターからの受託が見込まれ、順調に推移すると見えています。また、海外人材ニーズを反映してグローバルソーシングも引き続き堅調を予想しており、アウトプレースメントについては足元の受注回復の動きが見られるものの、サービスレベル維持を最優先し、サービス利用者の早期再就職決定に注力していくことから原価率が高止まる見通しです。

引き続きコスト削減および効率化を図るためのグループ再編や、成長のためのM&Aなども検討しつつ、収益の確保を着実に目指していきます。

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期連結業績予想	186,000	2,800	2,900	500
前 期 比	1.4%	△23.5%	△28.3%	144.0%

#### ●セグメント別通期連結業績予想 (セグメント間取引消去前)

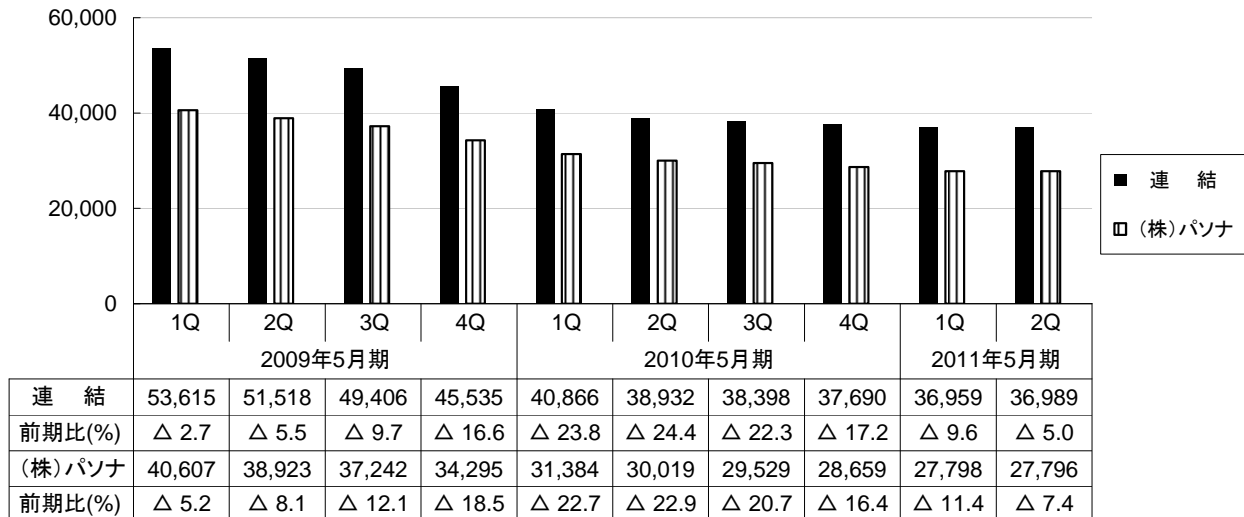
(百万円)

	売上高	営業利益
HRソリューション	184,660	5,640
エキスパートサービス(人材派遣)、 インソーシング(委託・請負)他	159,530	2,480
エキスパートサービス(人材派遣) インソーシング(委託・請負) HRコンサルティング	155,780	2,480
プレース&サーチ(人材紹介)	1,850	
グローバルソーシング(海外人材サービス)	1,900	
アウトプレースメント(再就職支援)	9,730	760
アウトソーシング	15,400	2,400
ライフソリューション パブリックソリューション シェアード	3,530	15
消去又は全社	△2,190	△2,855
合 計	186,000	2,800

※当期からセグメント区分を変更したため、前期比は記載していません。

## 5. 参考データ

### ●派遣長期稼働者数(1ヶ月以上契約の長期稼働者数の四半期毎の単純月平均) 単位:人



### ●エキスパートサービス(人材派遣)、インソーシング(委託・請負) 職種別連結売上高 (セグメント間取引消去後)

(百万円)

	(参考)※ 2010年5月期 2Q 累計	2011年5月期 2Q 累計		前年同期比	
		売上高	構成比	増減	増減率
ク ラ リ カ ル	42,087	38,735	52.6%	△3,352	△8.0%
テ ク ニ カ ル	13,366	12,833	17.4%	△533	△4.0%
I T エ ン ジ ニ ア リ ン グ	8,999	8,019	10.9%	△980	△10.9%
営 業 ・ 販 売 職	4,067	4,098	5.6%	31	0.7%
その他エキスパートサービス	3,314	3,043	4.1%	△271	△8.2%
イ ン ソ ー シ ン グ	5,856	6,927	9.4%	1,071	18.3%
合 計	77,693	73,658	100.0%	△4,035	△5.2%

※セグメント区分変更のため、前年同期分を変更後のセグメントに組み替えて比較しています

### ●四半期業績

(百万円)

	2010年5月期				2011年5月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売 上 高	47,161	44,908	43,977	47,468	44,574	44,419	-	-
前年同期比	△20.2%	△21.1%	△16.3%	△5.2%	△5.5%	△1.1%	-	-
売 上 原 価	38,326	36,053	34,915	37,489	36,432	36,388	-	-
前年同期比	△19.1%	△20.8%	△16.8%	△6.9%	△4.9%	0.9%	-	-
売 上 総 利 益	8,834	8,855	9,062	9,979	8,142	8,031	-	-
前年同期比	△24.9%	△22.6%	△14.1%	1.5%	△7.8%	△9.3%	-	-
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	8,968	7,815	7,772	8,513	7,831	7,811	-	-
前年同期比	△17.7%	△26.9%	△22.2%	△6.9%	△12.7%	△0.1%	-	-
営 業 損 益	△134	1,039	1,289	1,465	310	220	-	-
前年同期比	-	40.7%	127.0%	114.4%	-	△78.8%	-	-
経 常 損 益	△119	1,052	1,469	1,641	319	258	-	-
前年同期比	-	17.6%	178.2%	59.5%	-	△75.4%	-	-
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 損 益	△155	1,032	1,379	1,576	△134	247	-	-
前年同期比	-	69.0%	11,497.9%	24.0%	-	△76.1%	-	-
四 半 期 純 損 益	△1,102	△594	292	1,608	△471	△77	-	-
前年同期比	-	-	-	74.9%	-	-	-	-

本資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。